

全代会の広報誌  
**Campus**

Apr. 2023

No.229



IMAGINE THE FOOD.  
～学食への誘い～  
はじめての全代会  
全代会活動報告



### 学生と創る食堂

オンライン授業や在宅勤務の影響で一時は食堂の利用者数が半分に減少した。対面授業の増加に伴い賑わいを取り戻しつつあるが、今もなお以前の7、8割に留まっている。そこで学内の食堂や福利厚生について、学生生活課の奥村啓さんに話を聞いた。

新型コロナウイルス感染症は食堂経営に大きな影響を与えた。人手不足や昨今の物価上昇もあいまって、商品の価格を上げざるを得ない状況にあるようだ。体芸食堂や第三エリア食堂など、筑波大学から撤退してしまった店もあるという。現在、体芸エリアでは水曜日限定でパン販売店の「粉とクリーム」が復活している。また、フリースペースとなっている第三エリア食堂があった場所には、学生からのアイデアを受けてウォーターサーバーが期間限定で置かれていた。奥村さんは「学生からの要望がメールで届くこともあり、食堂に関する意見やアイデアを気軽に出示してもらえるとありがたい」と話す。

### 大学巡りはいかが？

筑波大学には大学生協がない。代わりに本学の教職員と学生で構

成される福利厚生委員会が外部の企業に事業を委託し、その役割を果たしている。書籍部では大学循環パスの定期券が購入できる。また体育・芸術エリアでは画材、宿舍近辺では家電など、場所ごとに学生のニーズに沿った品物を取り揃えている。「学内にこのような店舗があることを知らない人もいるかもしれない。移動の際に見かけたらぜひのぞいてみてほしい」と奥村さんは話す。

### これからの学食

最後に今後の展望について聞いた。奥村さんは「食堂を地域の人にも利用してもらえようような魅力的な場所になりたい」と言う。新型コロナウイルス感染症流行以前は高校生がキャンパスツアーで訪れたり、学生の宴会場として貸し出されたりしていた。現在は昼の営業のみだが、座席数の制限や消毒液の設置など感染対策がなされているため、安心して食堂を利用してほしいと話す。また、筑波大学が「開かれた大学」であることから、食堂も大学関係者だけではなく、企業の方や地域の方にも愛される「開かれた食堂」にしたいと語る。(熊谷)

# 学生生活課

# 学食の「よく、教えて！」

### 粉とクレームの略称

●粉クリ(粉とクリーム)の略称のチキンオーバークレームとめじのスープスタ (障害科学類3年)



●春日食堂の炒飯と揚げ餃子定食 (知識情報・図書館学類2年)



○3A棟フードコートの子キンカツカレー(辛口トリプル)が美味しい(社会学類3年)  
○3A棟フードコートの担々麺がおいしい(人文学類1年)

●医学食堂に時々登場する油淋鶏定食はおいしいと思う(医学類)



●本部レストランの定食は品数が多くて感動できる！内装もレトロでお洒落(情報メディア創成学類2年)



○鈴屋のパン、特にサンドイッチはコスパが良くおすすめです！(比較化学類3年)  
○2学食堂の魚系定食が高コスパ(日本語・日本文化学類2年)

●隠れた名店、大学会館筑波デミ(社会学類1年)



●スープファクトリーは色んな国のスープが飲めて美味しい(国際総合学類2年)

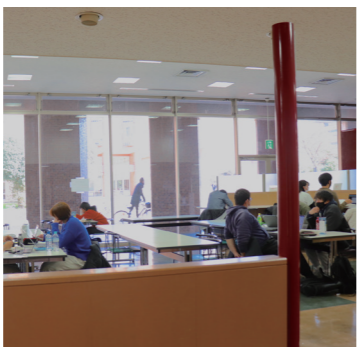


○1学食堂の窓際のカウンター席で、松美池のカモたちを眺めながら昼食をとるとリラックスできる(社会学類3年)

### おすすめスポット



●(石の広場の)芝生でお昼ご飯を食べていると、たまにカワセミが飛んでいて、心の潤いに良いです(人文学類1年)



●テイクアウトして3学食堂跡の休憩所で食べる(社会学類3年)



●マルハバンは野菜が沢山取れてテイクアウトもできるので気に入っています(教育学類2年)

# 1学食堂店長

### 1学食堂とは

「TSUKUBA TABLE」(通称1学食堂)は1A棟の1階に位置する食堂である。フードサービス大手のSHDAXXが運営しており、学生の胃袋を支えている。今回は店長である飯島幸代さんに話を聞いた。



お昼休みの学生で賑わう1学食堂

### 飯島さんよ

飯島さんは来店する学生の様子について「券売機におつりを忘れたまま取りに来ない学生が多い。500円以上など大きい額の場合もあるので気をつけてほしい」と話す。



お釣りは忘れずに取ろう！

また、事前注文をすることでオードブルや大皿などを購入でき、新型コロナウイルス感染症流行前は祝賀会などのために注文が入ることが多かったと振り返る。通常に戻ったら、パーティや宴会を行う際にはぜひ注文してほしいという。(大谷)

●2学うどん・そばというのほりが立っている学食が一番安く食べられると思う。とりあえず何か食べたい時にオススメ(生物資源学類2年)



### 自分なりの使い方

○粉クリは3限終了から少し遅れて焼きたてパンが追加されていくので、並び始めるタイミングと焼きたてのタイミングの境目を見極めるととても楽しい(日本語・日本文化学類2年)

○小さいサラダなどを加えるとお得だし美味しい(生物学類1年)  
○テイクアウトして、学内のベンチや宿舎で食べる(総合学域群第1類1年)

○お釣りの計算勝負で毎回食堂の方に負ける(数学類3年)  
※所属及び学年は、令和5年3月時点のものです。

# 筑波大学「学食」マップ

## 第三エリア

※3A棟フードコート うどん・そば店は休業中  
(令和5年4月1日現在)

### 3A棟フードコート 喫茶「粉とクリーム」

茨城県や栃木県に展開している出来たてパンやスイーツ、パスタを提供する喫茶。

### 3A棟フードコート 中華店

多種多様なラーメンや中華丼を扱う。現在は隣のうどん・そば店のメニューも提供中。

### 3A棟フードコート カレー店

トッピングや辛さ、盛りを自分好みにカスタマイズできるカレー専門店。

## 第二エリア

※2B棟「粉とクリーム」は休業中 (令和5年4月1日現在)

### 2B棟 食堂

定食に自分の好きな小皿をつけてカフェテリアのように楽しむことができる。

### 2B棟 小食堂 麺処

うどん・そば・ラーメンなどの麺専門の食堂。出汁とスープにこだわりを持つ。

### 2B棟 喫茶

### 「Café MARHABAN」

ハラル認証を受けた食材を使っており、ベジタリアンメニューなども取り扱う。



## 本部棟

### 本部棟レストラン

学生の利用機会が少ない本部棟に位置するが、誰でも利用できるレストラン。和洋中すべてが揃う。



## 体育・芸術エリア

### 体芸 喫茶「粉とクリーム」

水曜日限定で営業している喫茶。このエリアだけの限定商品も提供されている。

### 体芸 弁当販売

「キッチンカーかざみ」と「スパニッシュバルBonito」が日替わりで出店している。

## キッチンカー

学内各所で平日昼休みに出店している。食堂にはない個性豊かなメニューに出会える。出店予定は厚生会ホームページや筑波大学キッチンカー公式 Twitter アカウント (@genki2525with) で確認することができる。



## 第一エリア・中央図書館

### 「TSUKUBA TABLE」

1A棟にある大食堂。麺や丼、日替わり定食などさまざまなメニューが揃っている。

### 「スープファクトリー」

1A棟のスープ専門店。各国をイメージしたスープだけでなく、スイーツも提供している。

### 「スターボックス」



## 大学会館

### レストランプラザ「筑波デミ」

季節ごとに変わる日替わりランチにはスープ・サラダ・ドリンクバーが付く。



## 医学エリア

### 医学 食堂

医学エリアの大食堂。健康に気を使ったメニューを提供している。

### 喫茶「リーベン」

医学福利厚生棟の2階に位置する。ランチの定食のほかに、デザートやドリンクバーも提供する喫茶。

## パン販売 鈴屋

一学・体芸・本部棟など、学内で幅広く営業している土浦市の老舗パン屋。医学エリアの喫茶「リーベン」脇でもパン販売中。

## 春日エリア

### 春日 食堂

春日福利厚生棟にある食堂。アットホームな食堂を目指しており、学生だけでなく教職員も多く利用している。

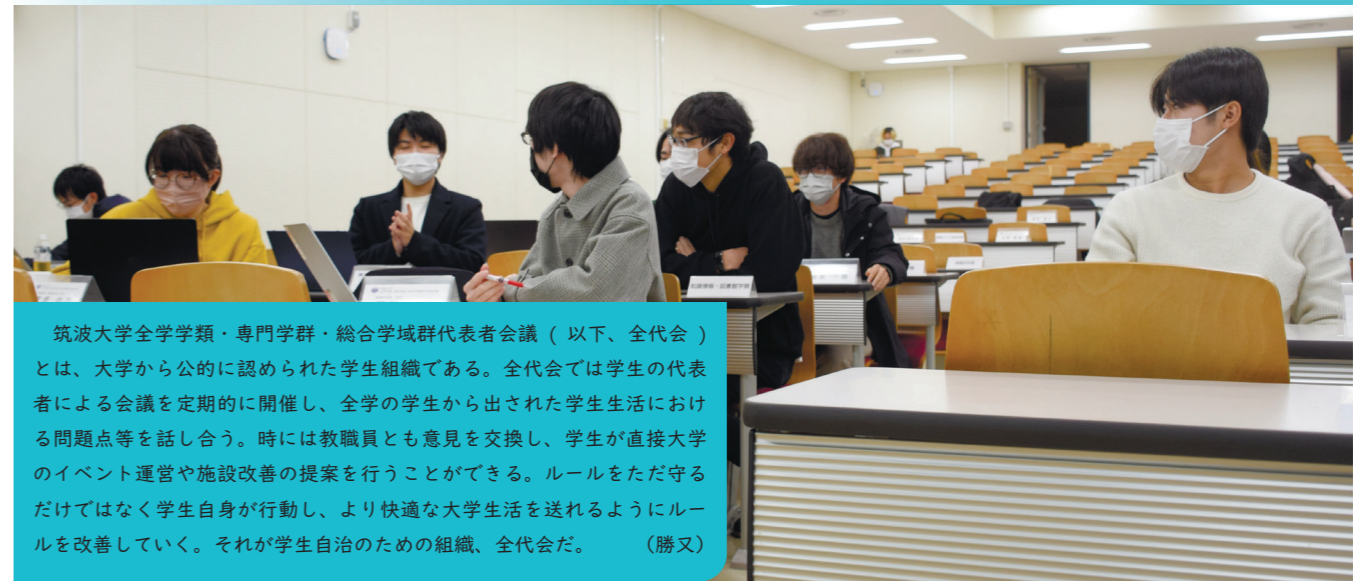


※最新の情報は筑波大学厚生会ホームページをご確認ください。

# 2 令和4年度の全代会のあゆみ

- 令和4年度の本会議で審議・採決された議案一覧
  - ※第一回、第二回は議長団選出のため、表記は割愛
- 第三回
  - 『令和5年度学園祭開催に関する要請』  
承認51、否認0、保留0→可決
  - 『新入生歓迎特別委員会の設立について』  
承認52、否認0、保留0→可決
  - 『全代会専用ラック設置について』  
承認49、否認1、保留1→可決
- 第四回
  - 『TWINNS改善の要望について』  
承認43、否認0、保留3→可決
  - 『国際特別委員会設立の要請について』  
承認42、否認1、保留2、無効票1→可決
- 第五回
  - 『企画・戦略特別委員会設立について』  
承認44、否認1、保留0→可決
- 第六回
  - 『令和4年度学園祭実行計画書追加提出分に関する要請』  
承認51、否認0、保留0→可決
- 第七回
  - 『学生組織制度の改編及び学長決定・副学長決定の改定について』  
承認47、否認0、保留2→可決
  - 『情報処理推進特別委員会の設置について』  
承認40、否認0、保留1→可決

# はじめての全代会



筑波大学全学学類・専門学群・総合学域群代表者会議（以下、全代会）とは、大学から公的に認められた学生組織である。全代会では学生の代表者による会議を定期的に開催し、全学の学生から出された学生生活における問題点等を話し合う。時には教職員とも意見を交換し、学生が直接大学のイベント運営や施設改善の提案を行うことができる。ルールをただ守るだけではなく学生自身が行動し、より快適な大学生活を送れるようにルールを改善していく。それが学生自治のための組織、全代会だ。（勝又）

# 3 全代会の委員会

※企画・戦略特別委員会は、設置期間である令和5年6月末をもって解散予定のため、割愛しました。  
※情報処理推進特別委員会は、令和5年1月に設置されましたが、編集時期の都合上、割愛しました。

全代会の庶務を担当し、会議準備や物品申請等の全代会構成員の活動補佐のほか、全代会室PC環境の構築やHPの管理を行う。

**総務委員会**

全代会の下部組織である学園祭実行委員会の監査・監督を行う。また、スポーツ・デー学生委員会や各サークル連合会等の学内行事を運営する組織と全代会をつなぐ役割も担う。

**学内行事委員会**

全学的な教育に関する問題を扱う。教育生活環境調査(※3)に寄せられた意見をもとに授業内容や学習環境の問題を発見・検討し、大学と連携して改善策を考える。

**教育環境委員会**

学生生活に関する問題を扱う。教育生活環境調査に寄せられた意見をもとに学生宿舎や学内売店、交通などの福利厚生に関する問題を発見・検討し、大学や業者と連携して解決策を考える。

**生活環境委員会**

全代会として取り組むべき問題の調査・報告を行う。アンケートや実地調査の結果をもとに教育環境委員会、生活環境委員会等と共有するための報告書を作成する。

**調査委員会**

全代会の広報を担う。全代会の活動や学生に有益な情報を発信するために、広報誌『Campus』や各委員会から依頼された広報物の制作、各種SNSアカウントの運用を行う。

**広報委員会**

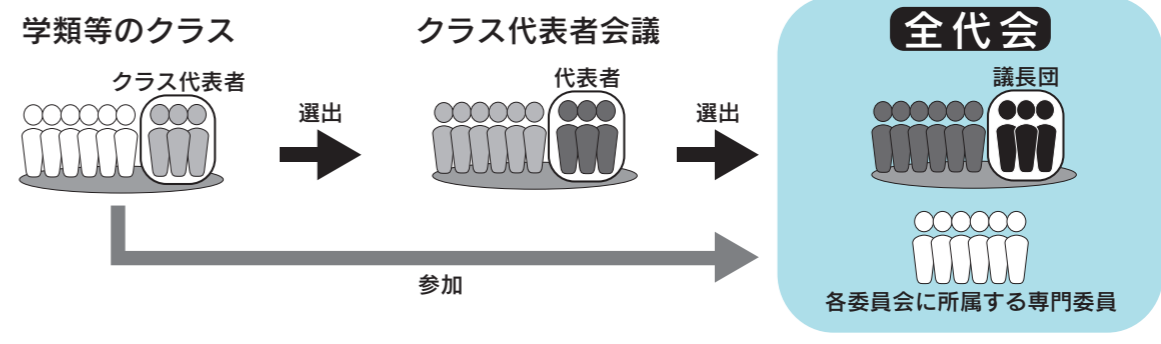
宿舎入居や学類別オリエンテーションなどの学内における新入生歓迎期特有のイベントに関する諸問題に対処し、各学群等の新入生歓迎に際して確実かつ統一された情報の提供を行う。

**新入生歓迎特別委員会**

留学生関連の諸問題を扱う。主に、サークル紹介誌の英語対応やチューター制度の改善、留学生の意見の集約を行う。

**国際特別委員会**

(川島)



# 1 「全代会」とは

全代会とは、全学学類・専門学群・総合学域群代表者会議の略称であり、筑波大学の学則に公的に認められた学生組織である。各学類等のクラス代表者会議(※1)からの代表者3人と、専門委員(※2)によって構成され、学内のさまざまな問題について検討する。扱う問題は教育、福利厚生、学内行事、大学運営など、非常に多岐にわたり、全学群生の代表として、学生のニーズに沿った活動を行っている。

全代会の活動には、主に本会議と委員会がある。本会議では、学園祭や新入生歓迎などの学生活動に関する事項や、委員会などから提出された学生生活に関する諸問題についての審議が行われる。この本会議を統括するのが全代会議長団であり、全代会の代表として大学側に意見や要望を伝える。委員会は、六つの常任委員会と期限付きの特別委員会がある。そこでは、全代会が実施したアンケートや学類等のクラス代表者会議に寄せられた学生生活に関する意見や要望について調査を行い、本会議

※1 クラス代表者会議とは…各学類・専門学群・総合学域群のクラスから選出されるクラス代表者で構成される学生組織。各学類内で生じた問題について、学類等の教職員や全代会に伝え、解決を図る。

※2 専門委員とは…各学類等の代表者ではないため、本会議における議決権は持たないが、全代会の委員会活動に参加できる。

※3 教育生活環境調査とは…全代会がオンラインで毎年配布している記述式アンケート。大学生活で発見した問題点に関する意見を広く収集している。

に提出する議案を作成する。また、大学と他の学生組織との橋渡しや、全代会活動の広報等も担う。(菊地)

# 4 全代会の雰囲気

※所属及び学年は、令和5年3月時点のものです。



## 広報委員会 しのぎきけんた 篠崎健太 (日本語・日本文化学類1年)

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます！次期広報委員長の篠崎健太です。今年度の全代会広報委員会では、昨年度の「ゆるふわ」からさらに進化した「したたかなゆるふわ」をモットーに、全代会の諸活動の広報（主にSNS）をパワーアップしていこうと思っています。この広報誌『Campus』を見てくれている新入生のキミ！私たちとより魅力的な全代会を作っていきますか？



## 新入生歓迎特別委員会 ぬまたわたる 沼田航 (工学システム学類1年)

新入生歓迎特別委員会（以下、新特）次期委員長の沼田航です。新特は新歓の活動に関する情報共有のお手伝いをはじめとした支援をおこなっています。近年の新型コロナウイルス感染症の状況の変化に応じて新歓の形も変容しつつありますが、新入生が安心して楽しい大学生活を始められるように努めます。新入生の皆さんの不安は私たちが取り除くので、新歓イベントを思いっきり楽しんでほしいです。



## 国際特別委員会 やまぐちたけと 山口毅人 (応用理工学類2年)

国際特別委員会は留学生が抱える問題を解決するために活動する委員会です。現在は、留学生が主役のイベント「International Day」の開催や、サークル紹介誌の英語化など、留学生が筑波大学で楽しく生活できるようにサポートする活動をしています。活動内容に興味がある人はもちろん、委員会のメンバーにはいろんな地域から来ている留学生がいますので、留学生と関わってみたいという人もぜひ！



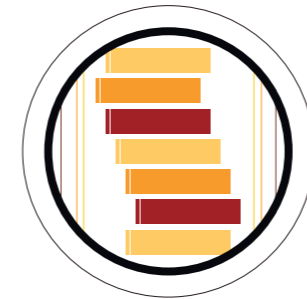
## 総務委員会 かわしまじゅんいちろう 川島淳一郎 (総合学域群第3類1年)

次期総務委員長を務めさせていただきます、川島淳一郎です。総務を全代会の右腕にすることをビジョンに掲げ、今年度は議事録の改良と全代会室の管理強化を推し進めていく予定です。総務委員会の活動は目には見えづらいですが、全代会が活動するなかで無くてはならない重要なものばかりです。担当次第では全代会HP運用やPC環境の構築などの情報技術の活用に携わることもできます。縁の下の力持ちとして活躍したい人はぜひ総務委員会へ！



## 学内行事委員会 たけのうちみく 竹之内美来 (化学類1年)

次期委員長を務めさせていただきます、竹之内美来です！学内行事委員会は特に人との関わりが多い委員会です。今年度は学生の活動をサポートできる委員会を目指します。委員会内の学年の枠をこえて活動を行い、学生が自発的に活動しやすい環境整備に努めます。私は全代会ってかっこいい！と思ったことがきっかけで全代会に所属しました。新入生の皆さん、どんな小さなきっかけでも大学の役に立ちたい！と思ったらぜひ全代会に来てみてくださいね。



## 教育環境委員会 かめいけんた 亀井健多 (教育学類1年)

新入生の皆様ご入学おめでとうございます！！次期教育環境委員長としてオンライン授業や対面授業が入り交じるなかで生まれてくるさまざまな問題をよく聞き、全学生が満足に授業を受けることができる環境を作っていけるように努力していきます。また、今年度は共通科目の成績評価や分布の改善、教職カルテのデジタル化を進めていきたいと考えています。新入生の皆様と一緒に活動ができる日を楽しみにしています！ぜひ！



## 生活環境委員会 みやたあおば 宮田青葉 (人文学類1年)

こんにちは、生活環境委員会です。生活環境委員会では今年度も皆様からのご意見をより多く取り入れて大学に伝えていきます。生活環境に関する問題には長期的な課題も多くなかなか成果が目に見えませんが、少しずつ成果を出していくつもりです。新入生の皆様、ぜひ生活環境委員会でともに活動しましょう！教育生活環境調査に答えていただくだけでも助かります。



## 調査委員会 あいざわそうた 會澤颯太 (比較文化学類1年)

皆さんこんにちは！次期調査委員会委員長の會澤です。今年度はさまざまな学校施設の快適さ向上のための実地調査も再開するため、新委員長として責任をもって活動したいと考えております。新入生の皆さんは全代会がどんな活動をしているのかまだよく分からないかもしれませんが、少しでも興味を持ったなら、気軽に参加してくれるととても嬉しいです！

# 5 昨年度を振り返って

河野美羽 議長

人文学類2年

山岸史和 副議長

社会学類2年

森望 副議長

社会学類1年

新型コロナウイルス感染症に関する規制の緩和により、全代会全体の活動域は徐々に拡大してきました。その背景として、三つの特別委員会の設置による活動の体系化が挙げられるでしょう。議長としての立場としては、自身の目標が明確でなかったことによる反省点が多くあったと感じております。残りの期間は、来期の全代会に向けて各活動の区画整理のような事を中心に行っていこうと思

新型コロナウイルス感染症に関する規制の緩和により、少しくもサークルなどの学生団体や全代会構成員の書類提出の負担を減らせるよう、オンラインでの教室申請の導入を大学側に申請しました。現在は試行段階にあります。現在は試行段階にあることですが、手続きが容易になることで次の世代の助けになればと思

令和4年度は複数の特別委員会を新設し、積極的に活動したことが大きな実績であると感じます。しかし、これらの活動は令和3年度以前から全代会が継続して取り組んでいた案件が実を結んだ、ともいえるでしょう。大学生が学生組織に取り組める期間は短く、故に学生組織が連続性のある長期的な運営をすることは難しいです。そのなかでこの業績は全代会構成員の努力はもちろんのこと、全代会に協力してくださった皆さんのお陰だと思

# 全代会活動報告

## 第一回意見聴取会

日時：令和4年10月12日（水） 18時30分  
場所：（対面）3A204  
（オンライン）Microsoft Teams  
出席：全代会構成員、学園祭実行委員

### 議題『令和4年度学園祭実行計画書追加提出分に関する要請』

#### ○議題について

学園祭実行委員会（以下、学実委）から学内行事委員会を通じて提出された学園祭実行計画書追加提出分について、討議が行われた。

本会では、全代会構成員を複数のグループに分けて学園祭実行計画書追加提出分を各グループで読み、その後学実委と全代会で質疑応答の時間が設けられた。交通規制や自転車撤去といった交通計画、当日の来場者の人数制限に関する質問が出されるなど、活発な議論が行われた。

また、後日行われる第五回本会議における審議のため、本会で出された質問や誤字脱字の指摘をもとに実行計画書等の修正が行われた。

## 第五回本会議

日時：令和4年10月19日（水） 18時30分  
場所：（対面）3A204  
（オンライン）Microsoft Teams  
出欠：出席52 遅刻2 早退1

### 議題『令和4年度学園祭実行計画書追加提出分に関する要請』

#### 【採決結果】（採決時の出席者は51人）

承認：51  
否認：0  
保留：0  
↓全会一致で可決された。

#### ○議題について

第一回意見聴取会での議論をもとに修正が加えられた学園祭実行計画書追加提出分について、審議が行われた。二次予算案に関する質問や誤字脱字の指摘が出され、それに対して学実委が回答をした。最終的には右に示した通り全会一致で可決された。

#### ○令和4年度学園祭について

読者の皆様もご存じの通り、学園祭が3年ぶりに対面で開催された。来場者の事前予約をはじめとする初の試みもあったが、一貫して大きな混乱もなくその幕を閉じた。これは令和4年度学園祭実行委員会の尽力があつてこそその成果であり、改めて称賛の言葉を贈りたい。

## 第二回意見聴取会

日時：令和4年11月9日（水） 18時30分  
場所：（対面）3A204  
（オンライン）Microsoft Teams  
出席：全代会構成員

### 議題『学生組織制度の改編及び学長決定・副学長決定の改定について』

#### ○議題について

企画・戦略特別委員会から議長団を通じて提出された、学長決定『筑波大学の学生組織等について』及び副学長決定『筑波大学における学生の組織及びクラス連絡会等について』の改定案をめぐって、討議が行われた。

本会では、企画・戦略特別委員会からの改編に関する説明と全代会構成員による当該改定案の確認があつた後に、質疑応答の時間が設けられた。質疑応答では、各学類等代表者の議決権停止の要件、組織改編後のクラス代表者会議や全代会の在り方についての質問がなされた。

また、後日行われる第六回本会議における審議のため、本会で出された質問や誤字脱字の指摘をもとに改定案の修正が行われた。

## 第六回本会議

日時：令和4年11月16日（水） 18時30分

場所：（対面）3A403

（オンライン）Microsoft Teams

出欠：出席51 遅刻0 早退0

### 議題『学生組織制度の改編及び学長決定・副学長決定の改定について』

#### 【採決結果】（採決時の出席者は51人）

承認：47  
否認：0  
保留：2  
無効票：2  
↓承認多数で可決された。

#### ○議題について

議長団から提出された『学生組織制度の改編及び学長決定・副学長決定の改定について』についての審議が行われた。主に改定すべき事項として、「座長団制度の改編」「クラス代表者会議の上部組織として全代会を明記すること」「学類に対する全代会議決権停止制度の導入」の三つが提案された。これらの改定は、学類・専門学群・総合学域群の代表を担う学生の任意意識強化や全代会の代表組織としての明確化を促し、学生組織としての自治能力や信頼を向上させることを目的としている。

#### 副学長と全代会構成員の懇談会

日時：令和4年12月7日（水） 18時30分  
場所：グローバルヴィレッジ大和リース  
コミュニティステーション2階

出席：副学長（学生担当、教育担当）、

国際担当、企画評価・広報担当）、  
スチューデントサポートセンター関係  
教職員、学群長・学類長等教職員、  
関係事務局の職員等、その他関係教  
職員、全代会構成員

#### ○懇談会について

副学長と全代会構成員との懇談会（以下、副学懇）では、全代会活動の中間報告を行い、全代会が提出した話題について話し合う。本会は副学長のほか、学群長並びに学類長、その他関係教職員や全学学生の代表である全代会構成員が一堂に会し意見を共有する重要な会として位置づけられている。

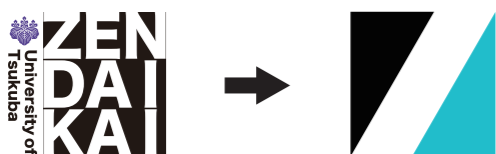
今回の副学懇では、はじめに令和4年度の全代会活動の中間報告を行った。時間の関係上、中間報告は配布した資料をもとにした簡単な補足だけに留められ、国際特別委員会と企画・戦略特別委員会の設立が報告された。河野美羽議長（人文学類2年）は、学則改定の動きが活発になっていくだろうと今後の展望を述べた。

次に、全代会が提出した三つの話題について意見交換を行った。一つ目の話題である『総合学域群の移行を伴うカリキュラム等について』では、事前に今年度総合学域群生と昨年度総合学域群生を対象に実施したアンケートをもとに話し合われた。一例として「移行後のカリキュラムについて不便・不安に思うこと」や「大学でやりたい

事が見つかったか」についてのアンケート結果が報告された。二つ目の話題である『学類・学群共通科目の成績評価について』では、英語や体育などの共通科目は担当教員によって評価の付け方が異なり、それによって成績の偏りが危惧されるため、具体的な成績評価基準や評定内訳を発表してほしいという要望が出された。これに対して教職員側からは成績分布を決定し、その成績分布通りになるような試験やレポート課題を定めるのは非常に難しいという意見や、共通科目はP/F評価で決めれば良いのではないかという意見が挙がった。三つ目の話題である『道路整備を含む福利厚生について』では、学生側から宿舎・教室設備、Wi-Fi等の改善に関するパブリックコメントの設置が提起された。これに対し、学生の要望については整備が追い付かない場合もあるが、可能なものから随時対応しているとの教職員側からの説明があつた。また意見の収集に関しては、教職員側からも学生宿舎のリニューアルを考えているため、多くの学生の意見が欲しいとの声も挙がった。

最後に、池田潤副学長（企画評価・広報担当）により筑波大学第4期中期計画・評価指標における自己点検・評価結果及び統合報告書等を活用した学生との意見交換が行われた。本会は学生らと副学長等教職員が顔を合わせて活発に話し合う貴重な意見交換の場となった。

## ロゴマークが新しくなりました！



全代会の広報誌  
No. 229 Apr. 2023  
2023年4月1日発行

**Campus**

編集長 菅原 由乃  
発行人 篠崎 健太

表紙デザイン	勝又 玲	松本 英愛
編集委員	太田なみ糸	小山 杏奈
	菅原 由乃	熊谷奈々恵
	江波戸憧音	川島淳一郎
	大谷 美琴	佐藤 凌
	勝又 玲	菊地 康介
	高田梨々子	高橋 愛果
		水野 舞優

発行 全学学類・専門学群・総合学域群  
代表者会議 広報委員会  
(zdk@stb.tsukuba.ac.jp)

## 編集後記

皆さんこんにちは。編集長の菅原由乃です。全代会の広報誌『Campus』229号を手にとってくださりありがとうございます。本号は新入生の皆さんに手に取ってもらえる最初の号ということで、新たに始まる学生生活を彩るような話題を提供できていたらと思います。また、2年生以上の皆さんにも知ってもらいたい情報満載です。ぜひ最後までお楽しみください。今後とも全代会を、そして全代会の広報誌『Campus』をよろしく願います。  
(菅原 由乃)

## 広報委員長としての一年を終えて

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。昨年度、委員長を務めた者ですが、初めは何も知らず、何もできずの自分でしたが、早くも2年の歳月が経ちました。学生生活は、1年が過ぎるのが本当にあっという間でした。さて私は、今年度も制作部長として引き続き、全代会の広報誌『Campus』に関わる予定です。皆さんの素晴らしい大学生活のお供に。どうぞよろしく願います。  
(江波戸憧音)

